



まんばるーれぽーと

柏原保育園園児が新園舎前でモミジなどを植樹(12月16日)

柏原保育園の園児が、新しい園舎の前でモミジなどの植樹を行いました。

株式会社平和堂から有料レジ袋収益金を寄贈された県緑化推進会が、県の木(モミジ)を県内の学校や公共施設などに植樹し、緑化を推進する「平和の緑づくり事業」の一環として行われたものです。この日は園児27人がモミジやサツキなどにシャベルで土をかけました。

植樹後、園児たちは感謝の気持ちを込めて歌を元気いっぱいに披露し、大切に育てていくことを約束しました。

柏原保育園の新しい園舎は山東B&G海洋センター旧運動場に完成し、園児たちは1月25日から新しい園舎での生活をスタートさせました。



尾木ママがっこう(1月17日)

米原市合併10周年を記念して、まいばらふるさと大使である教育評論家の尾木直樹さんを講師にお迎えして「尾木ママがっこう」をルッチプラザで開催し、親子ら約300人が参加しました。

講演会では、市内の小学生から事前に募集した質問や相談に、尾木さんがユーモアあふれる口調で答えました。「なぜ自分がいじめにあうのか」という相談には「いじめられる子に問題はなく、ストレスを抱えていて、それはけ口として他人をいじめてしまう側に問題がある」とし、「人を傷付けても幸せになれないよ」と語りかけました。

講演の最後に尾木さんは「他人と比べず自分を見つめ、夢をもってほしい。親も、自分の子を他の子と比べないで」と参加者にメッセージを届けました。



米原市消防出初式で、福島県相馬市の立谷秀清市長からいただいた「君の未来に万歳」というVTRを上映しました。東日本大震災の際、多くの命を救いながらも殉職された相馬市消防団の分団長を偲び、そのご遺族へ思いを寄せる内容です。相馬市ではこの震災で10人の消防団員が殉職されています。

消防団員のみなさんは、普段それぞれの仕事がある中、市民の生命身体や財産を守るという強い使命感を持つて、危険と隣り合わせの活動にご尽力いただき、本当に畏敬の念を抱きます。消防活動や水防活動において、地域を熟知した地元消防団のみなさんの迅速な対応は欠かせず、地域全体の防災力を高めていく上でもリーダーとして大きな役割を果たしていただいている。

社会環境の変化により、全国的に消防団員が減少している中、来年度、米原市消防団に女性消防団員が誕生します。女性ならではの感覚を生かして消防団活動に携わっていただく予定です。

3月11日を忘ることなく、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりますので、みなさんのご協力をよろしくお願い申し上げます。



米原市長 平尾道雄

市長コラム

市政言

